



最後の仕上げ  
(小国橋小学校・雪の芸術展)

No. 107  
'78 3 / 15

町の人口 2月28日現在 ( ) 前月比  
男 4,754人 (-1) 女 4,935人 (-3) 計 9,689人 (-4) 世帯数 2,311 (+1)  
発行 小国町役場 編集 総務課庶務係 [ ☎ 越後小国 (025895) 3111 (代) ]

## 通学路 黄色い帽子に 注意と除行

### 春の全国交通安全運動

4月6日～15日

4月は新入学・新入園の時期です。かわいいランドセルを背負ったことでもさんの姿がたくさん見られます。かわいいお子さんが交通事故にあわないよう、家族みなでお子さんに正しい交通のルールを指導しましょう。お子さんやお年寄り(交通弱者)の保護を重点に、全国一斉に春の交通安全運動が実施されます。

この機会に次の点に注意し、町民あけて交通事故をなくすようにいたしましょう。

- 〈正しく安全な横断をしましょう〉  
遠まわりでも横断歩道を、右・左の安全を確かめて渡る。
- 運転者に手をあげて合図し、車がとまったのを確かめて渡る。
- 信号機のあるところは信号に従って渡る。

#### 〈ゆつくり走ろう〉

車の速度が速くなると——動いているものを見る能力が低下し、視野が狭くなりまた近くのものが確認できなくなり、さらには車の停止距離が長くなることな

ど悪条件が重なって事故を誘発します。昨年当町でも、スピードの出しすぎによる事故がたくさんあり、死者まで出ています。雪も消えてきて道路条件も良くなりましたが、こんな時が一番危険です。ゆとりある低速運転で、あなた自身の安全を勝ちとりましょう。

#### 〈飲酒運転禁止〉

酒を飲んで車を運転すると、反射神経がにぶり正常な運転ができなくなるとい

## “こわい” 幼児の行動スタイル

子供の交通事故の中には、大人ではとてい考えられないようなカタチでおこる例がたくさんあります。そのほとんどが、子供の行動の特性が原因となったものです。

交通事故につながりやすい子供の行動の特徴としては、次のようなものがあります。

子供を交通事故から守るため、お母さん方の参考になればと思います。

#### 〈その1〉

1つのことに夢中になると、まわりの物が目に入らなくなる。

- 道路で夢中になって遊んでいて、車が近づいても気がつかない。
- ボールを追っかけて、いきなり車道に飛び出す。
- 道路の反対側から、親や友達に声をかけられたり、手を振って合図されると、いきなり車道へ飛び出す。
- 親と手をつないで歩いても、興味のある物(たとえばおもちゃ屋)などを車道の反対側に見つけたら、つないだ手を振り切っても飛び出すとする。



うことはご存じのことと思います。

今年になって県内では飲酒運転による事故が多発しており、警察では今後取締りを強化するとのこと。

飲酒運転は絶対しないようにしましょう。

〈その2〉  
その時その時の気分によって行動が変わる。

- うれしいことがあると、はしゃいで落ちつきがなくなる。また、父母に叱られたりするとそのことばかりになり、まわりを見ないで道路を歩いたりする。

#### 〈その3〉

物事を単純にし理解できない。

- 自分が黄色い旗を持っていたら、車は、いつでも必ずとまってくれると思ひこむ。
- 走っている車が止まるために、どのくらいの距離が必要なのかよくわからない。

#### 〈その4〉

大人のまねをする。  
● 信号を無視して横断したり、交通ルールを守らない大人を見て、その通りのまねをする。

#### 〈その5〉

- 物かげで遊びたがる。
- 駐車中の車の下にもぐりこんだりして遊ぶ。
- 大きなダンボール箱にかくれたり、入って遊ぶ。

子供の交通事故には、いろいろな特徴がみられます。その主なものをあげてみます。

● 子供の交通事故の発生しやすい時間は、下校時あるいは、下校後の1～2時間の間に最も多く発生しています。特に、午後四時から六時までの時間が要注意です。なお、曜日別では、土・日曜日の発生が目立っています。

● 行動半径のせい子供は、自宅近くが最も多く、特に半径五十メートル以内が、危険地帯です。

● 自宅から半径50メートルが、危険地帯です。

● 自宅付近での事故が多いことを、お母さん方は覚えておいていただきたいものです。



